



2023年度

(令和5年度)

社会福祉法人イリアンソス

**事業計画**

## 目次

### 第1 2023年度イリアンソス事業計画について

1. 法人の理念
2. 情勢展望
3. 法人事業
4. 事業方針の具体化
5. 法人運営
  - (1) 法人役員
  - (2) 職員体制
  - (3) 理事会・評議会
  - (4) 法人会議
  - (5) 家族会
  - (6) 研修
  - (7) 施設整備
  - (8) 職員採用
  - (9) 事業所別利用状況
  - (10) 担当者会

### 第2 事業別

1. 日中支援部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
    - 1) のぞみの家
    - 2) 活動センターかなえ
    - 3) なかまの家
2. 生活部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
    - 1) 生活寮そら
    - 2) 生活寮にじ・かぜ短期入所
3. 余暇・居宅・相談部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
    - 1) 放課後等デイサービス
    - 2) 移動支援事業
    - 3) 日中一時支援事業
    - 4) 相談支援事業
4. 事務部門
  - (1) 重点課題

## 第1 2023年度 イリアンソス 事業計画について

### 1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応えていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

### 2. 情勢展望

新型コロナに引き続いて、ウクライナ戦争によって世界状況が厳しくなっています。新型コロナは政府が感染症法上の分類を2類から5類へ移行することが閣議決定されました。このことがわれわれ法人の事業にとって新たな対応を迫られ、まだまだ感染症との戦いは続きます。

さらに、ウクライナ戦争を口実に政府は防衛費の増額に踏み切ってしまいました。しかも政府は「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」と言い換え軍事の増強のパワーゲームを推し進め戦争への可能性をより高めています。戦争は障害のある人を増やすことになります。そして、国は戦争を口実に社会保障を削ろうとしています。障害のある人を含めた社会的弱者の生活が、憲法で保障された生活が失われようとしています。絶対に阻止していかなければなりません。そのためにも国連で定めた障害者権利条約を理解し遵守する必要があります。一人ひとりが大切にされる社会をめざして、今ある日常生活を守る運動を法人としても取り組んでいきます。特に今年は「65歳問題」「優生裁判」「生活保護」の裁判が結審していきます。一つひとつが障害のある人を含めた社会的弱者の権利を守るための裁判です。ぜひ、法人のスタッフ関係者が一人ひとり関心をもって応援していけるよう取り組んでいきます。

### 3. 法人事業

昨年度法人の通所を利用している成人の利用者家族にこれからの生活についてアンケートを行いました。その中で多くの家族が当法人のグループホームを希望していることが明らかになりました。その要求に応えていくためにも、現在の生活寮そらの体制づくりとあらたな生活寮建設ができる予定地の確保にとりくんでいきます。また、障害のある人が地域で安心して暮らす仕組みづくりについては、法人としては、昨年度から相談支援事業の充実に取り組んできています。単なる相談に終わるのではなく、通所と生活の場の間をしっかりと支えることで豊かな地域生活が成り立ちます。そこで相談だけでなく生活の支援も視野に入れた取り組みも考えていきます。

### 4. 事業方針の具体化

#### (1) 一人ひとりの利用者に合わせて支援を行うために

新型コロナウイルス感染症が5類になったとしても脅威は引き続きあります。その中でも、みなさんの協力のもと障害のある人たちの暮らしを支援できる体制を作り上げていきます。そのためにも利用者とその家族、法人で働くスタッフとその家族、わたしたちの地域で暮らしている人たちを意識したつながりを大切にしていきます。また、新型コロナ対策として必要な手立てを自治体や東京都、国へ訴える運動もおこなっていきます。

#### (2) 人材確保と育成

新型コロナウイルス感染拡大によりスタッフの人材不足は、ますます進んできています。利用者への支援を守っていくために引き続き強力に取り組めます。そして、安定した運営を維持することで、法人全体のスタッフの協力関係による働きやすい環境を作り、新しいスタッフが増えても、継続して働ける職場づくりをめざします。

また、事業所間の連携を強化し、法人全体の利用者や家族、事業に目を向けることができる職員の育成にも力を入れていきます。

人材確保の好循環を維持し、職員・スタッフ一人ひとりがこの事業に魅力を感じられ、あらたな人材確保ができるよう努力をしていきます。

さらに、積極的に研修や見学など他法人とも協力して取り組みたいと考えています。

#### (3) 事務の一本化の実現と事業の連携

引き続き事務の一本化については、5事業所が連携して取り組んできています。また、毎月の事業実績やケース記録、スタッフ配置、常勤換算状況などを集団でまとめていくことで、それぞれの事業が法的根拠を維持していることを確認できる仕組みを充実していきます。

#### (4) 専門職との更なる連携

定期的に行われている担当者会議を今年度も充実させていきます。引き続き訪問看護事業所の看護師・作業療法士・栄養士などの専門職のアドバイスを共有することを大切にしていきます。また、相談支援事業を活用して専門職や他事業所の職員との連携会議を実施します。そのことで利用者の支援を一事業所だけで担うのではなく、チームで支援する仕組みを増やしていきます。

#### (5) 利用者・家族会の意見を反映

昨年度は新たな将来構想に向けて取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大で感染者への支援に追われ、利用者、家族そしてスタッフへのアンケートを実施することが出来ませんでした。今年度は、計画的に実施し法人としての方向性を確認できる年度にしていきます。

#### (6) 法人事業所の施設整備

2021年に東久留米市議会になかまの家の老朽化の解消について家族会から請願していただき、結果は趣旨採択となりました。引き続き利用者・家族が安全・安心して通える事業所を実現できるよう各方面に働きかけ、改修及び建替えの実現ができるよう働きかけていきます。

また、のぞみの家は長年公園横にある市の敷地に送迎車を置かせていただいています。しかし、施設の前の道路の交通量が増えており、利用者の送迎体制も危険を感じる場合があります。安全な駐車場の確保により、利用者の送迎が行われるよう東久留米市に相談していきます。

#### (7) 5部門で分担をおこい具体化に努めていきます。

- 1) 法人本部…法人本部として全体の責任を持つ
- 2) 通所部門…成人期の日中の活動を中心に3つの事業所を束ねていく部門
- 3) 生活寮部門…4つのユニットの運営に責任を持つ部門
- 4) 余暇・居宅・相談部門…学齢期の子どもたちの支援を中心に活動することと相談支援に対応する部門
- 5) 事務部門…各事業所及び本部事務に責任をもつ部門

### 5. 法人運営

#### (1) 法人役員

##### 1) 理事・監事

ア. 定数 理事 6人 監事 2人

イ. 任期 令和5年6月～2年後の定時評議員会終了まで

##### 2) 評議員

ア. 定数 7人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議員会終了まで

##### 3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 2人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議会終了まで

4) 法人事務局員 2名

(2) 職員体制

		常勤（上段）						
		非常勤（下段,カッコ内の数字はパート）						
		施設長	サビ管	主任	支援員	事務	小計	
日中支援部門	のぞみの家	①	1	1	4（欠2）	①	7	
					3（20）	（1）	3（21）	
	かなえ	①	①	2	4（1）		7（1）	
					5（23③）	①（①）	5①（24④）	
なかまの家	①		2	2		5		
				1（4④）	1	2（4④）		
生活寮部門	うみ	1	1	3	1（欠1）	1 （1）	14（欠4） （19）	
					1（8）			
	2（欠1）							
	1（5）							
	1（欠1）							
	（3）							
かぜ	1（欠1）							
	1（3）							
余暇・居宅・相談部門	このみ	①			1		3	
					放課後		1（13）	（①）
	日中移動							2
							1（5）	
相談支援		①					1	
					①	（①）	1（1）	

※○に数字は兼任 欠は欠員

※サビ管はサービス管理責任者の略

※かなえ＝活動センターかなえ

※放課後＝放課後等デイサービス

※日中＝日中一時支援事業

※移動＝移動支援事業

※相談支援＝イリアンソス相談支援センター

※かなえ（ ）は育休中

事業所名	定員							現員	備考
	日中部門	生活寮部門		余暇・居宅相談部門					
		生活介護	生活援助	短期入所	放デイ	移動支援	日中一時		
のぞみの家	20							24	
かなえ	40							28	
なかまの家	20							14	
生活寮そら		28						28	
短期入所			2					2	1日の定員
このみ				10				36	
					※1			56	登録者数
						※2	5	56	登録者数
相談支援							52	52	依頼件数
部門別定員合計	80	28	2	10					

○「かなえ」→「活動センターかなえ」

○生活寮の定員は、7名の4ユニットの合計

○このみの「定員10」は、1日の定員数・「現員36」は登録者数

※1 移動支援の定員は設定なし・「現員54」は登録者数

※2 日中一時の「定員5」は同時サービス利用者の定員数・「現員54」は登録者数

○相談支援は、モニタリング・利用計画を含む

### (3) 理事会・評議会開催計画

#### 1) 理事会

ア. 第1回理事会：令和5年6月8日

事業報告（案）

決算報告（案）

監査報告

理事推薦名簿（案）

監事推薦名簿（案）

評議員会開催

イ. 第2回理事会：令和5年6月26日

理事長選任

ウ. 第3回理事会：令和5年9月14日

補正予算（案）

その他

エ. 第4回理事会：令和5年12月14日

補正予算（案）

その他

オ. 第5回理事会：令和6年3月21日

補正予算（案）

事業計画（案）

当初予算（案）

2) 評議員会

ア. 第1回評議員会：令和5年6月26日

事業報告の承認

決算報告の承認

理事の承認

監事の承認

イ. 第2回評議員会：令和6年3月21日

補正予算の報告

事業計画の報告

当初予算の報告

(4) 法人会議計画

1) 部門長会議 月1回 理事長、部門責任者、事務部門責任者

事業計画に基づいた事業運営における情報共有及び課題解決に責任を持つ

2) 法人事務局会議 月2回 理事長、各施設管理者

法人運営を中心に実施

(5) 家族会

法人全体家族会と学習会を実施します。学習会では感染状況を見ながら開催に向け内容を検討していきます。

(6) 研修

職員は、リモート研修も含め所属施設長と相談しながら最低2日は研修会に参加することを徹底します。法人研修では、感染状況を見ながら対面やリモートでの研修を開催します。

1) 新人職員研修：年度の途中に採用された職員も含む

ア. 法人の歴史と理念と目指すもの

イ. 法人職員として大切なこと

ウ. 各事業所のとりのくみと大切にしていること

エ. 現場見学または実習の講座を行います。

2) 法人職員研修：施設長とサビ管が中心になり必要な研修内容を企画しま



す。

### 3) 虐待防止研修

虐待防止委員会が中心となり研修会を開催します。全従業員への参加が義務となっているので内容や開催方法など参加しやすい方法を考えていきます。不参加の職員に対しての研修内容の情報提供の方法も工夫していきます。

4) 担当者会研修：担当者会でテーマに応じた研修会をおこないます。

5) 法人内施設長研修：法人内他事業所に1~2週間勤務し、事業所のとりくみを把握して今後の法人運営に役立たせます。

## (7) 施設整備計画

### 1) のぞみの家

#### ア. 外壁工事（外部改修工事）

のぞみの家の外壁にあるタイル、山田うどん側3階から4階に行くための階段にある窓の部分のクラック工事をおこないます。

見積金額 7, 884, 000円

【内訳】工事費用 7, 300, 000円

消費税額 584, 000円

#### イ. エレベーター工事

のぞみの家建設当時に導入したエレベーターの交換工事です。現行の基準に該当していませんが、メンテナンス等を行うことで稼働させることが出来ています。耐久年数は、17年前後・実働的には20年前後との事でした。また、工事期間は1週間から2週間前後となるとの事です。その間の活動の保障も含めて、かなり大規模の工事になります。

見積金額 23, 760, 000円

【内訳】工事費用 22, 000, 000円

消費税額 1, 760, 000円

#### ウ. 非常用電源

設置後、20年が経過しようとしています。近年エンジントラブル・基盤トラブルの修繕が多くなっております。本体の交換を考えています。

見積金額 12, 000, 000円

【内訳】工事費用 10, 909, 091円

消費税額 1, 090, 909円

#### エ. 車

近年、通院のために通所時間のなかで病院や寮に送る方が増えてきています。どの職員も通院送迎が出来るように車いす1台が載せられる車の購入を考えています。

見積金額 2, 500, 000円

【内訳】購入費用 2, 272, 727円

消費税額 227, 272円

#### オ. 駐車場及び駐輪場整備費用

のぞみの家の駐車場は後ろ向きで入れなくてはいけなく、その際に利用者との距離や通学路となっているため、児童や中学生が多く通っています。交通事故防止の観点から、駐車場・駐輪場整備を進めていきます。

見積金額 4, 000, 000円

【内訳】工事費用 3, 636, 363円

消費税額 363, 636円

#### 2) 活動センターかなえ

##### ア. 修理工事

かなえが建設してから8年経過し、修繕が必要なところが扉など含め複数箇所出てきています。そのため、今年度は必要なところを修繕していきます。

見積金額 500, 000円

#### 3) なかまの家

##### ア. 修繕・改修

担当課と建物を確認しながら修繕依頼の働きかけをしていきます。築24年が経っていますので安心安全に使用できるようにお願いをしていきます。場合によっては事業所での修繕もします。

【見積金額】 500, 000円

#### 4) 生活寮

##### ア. 防災倉庫設置（うみそら敷地内）

災害時の食料や水の保管に使用します。うみそら・にじかぜ分を保管できる大きさと安全に保管ができる仕様のものを選定します。

見積金額 1, 100, 000円

【内訳】工事費用 1, 000, 000円

消費税額 100, 000円

##### イ. にじかぜウッドデッキ設置

食事の配膳などの際に安全に行き来ができることと利用者の余暇時間の充実の為に設置します。転倒・転落の恐れが無いような仕様を選定します。

見積金額 2, 200, 000円

【内訳】工事費用 2, 000, 000円

消費税額 200, 000円

##### ウ. 修繕

特に水回りの修繕箇所（水栓、洗濯機、給湯器）が増えてきています。単に壊れた箇所を修繕するのではなく、改めて利用者が使いやすい形状になっているかも検討しながら修繕を検討していきます。

見積金額 1, 000, 000円

5) このみ

ア. 活動充実のための備品購入

遊びを充実させるため、感覚遊びができる遊具（ロッキングボールチェア）を購入します。赤い羽根共同募金の地域配分（B配分）を申請し、購入します。

総事業費 112,000円

【内訳】配分申請額 80,000円

自己負担額 32,000円

6) 事務部門

なし

(8) 職員採用計画

令和5年度は新卒募集について採用コンサルを導入して進めてまいります。また、中途採用も含め、事業計画に則った計画的採用をしていきます。

(9) 事業所別利用状況

1) のぞみの家

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級	4	6		3	2	15
		2級		4				4
		3級						0
		4級		1				1
	2種	5級		3				3
	なし						1	1
	合計		4	14		3	3	24
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
21	2	1	0	0	0	24		

2) 活動センターかなえ

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		1	1			2
		2級		1				1
		3級		1				1
	2種	2級						
		3級						
		4級	1	1				2
	精神				1			1
	なし		1	14	5	1		21
	合計		2	18	7	1	0	28
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
13	13	2	0	0	0	28		

3) なかまの家

身体障害者及び知的障害者			愛の手帳（知的障害）					
			1度	2度	3度	4度	なし	合計
身体障害者手帳	1種	1級		2	1			3
		2級		1				1
		3級		1				1
	2種	2級						0
		3級		1				1
		4級						0
	なし			8				8
	合計			13	1			14
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
12	1	1	0	0	0	14		

4) 生活寮

身体障害者及び知的障害者			愛の手帳（知的障害）					
			1度	2度	3度	4度	なし	合計
身体障害者手帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						0
		4級						0
	2種	4級		1				1
		5級						0
	なし		1	10	2	1		14
	合計		2	19	3	4	0	28

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
23	4	0	0	0	1	28

5) このみ(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援含む)

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳 (知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1	1		2
		5級						
	2種	1級						
		2級			1			1
		3級						
		4級	1					1
		5級						
	精神2級						2	2
なし		0	12	13	14	12	51	
合計		1	15	18	15	14	63	

区分(放課後等デイサービス利用者36名)

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2 (該当なし)	区分1 (該当あり)	合計
0	0	0	0	7	29	36

(10) 担当者会

1) 防災環境

ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有

各事業所から報告されるヒヤリハットや事故報告書の内容を共有して、各事業所で防止策を検討します。

イ. 防災について

火災や地震だけでなく、大地震や水害なども想定しBCPのベースを作り上げます。また、日々の活動や研修を通しての知識や気付きを増やして、スタッフ全体でベースへの積み重ねを行っていきます。それを基に実践的な避難訓練を消防署とも連携して行います。

ウ. 環境について

安心・安全な環境づくりを目指し、施設内を点検し管理者と共有するなど具体的に安全確認をおこないます。また、改善が必要な事象には速やかに対応できるように連携して行きます。

## 2) 健康衛生

### ア. 情報の共有について

各事業所の課題（実態）を持ち寄り情報交換します。また利用者の姿を24時間包括的に捉えるため生活寮の担当者の参加や、専門職からの具体的な取り組みの提案など、法人全体の健康衛生に対する意識向上を目指します。

### イ. 保健衛生について

担当者が各々の事業所のリーダーとして感染症対策の最新の正しい知識を理解し、スタッフや利用者に対して迅速に情報提供できるよう学習していきます。

### ウ. 健康について

高齢化、口腔ケア、健康診断の受診、医療(利用者の通院状況)などについて、各事業所での取り組み状況や課題を出し合い、支援につながるよう情報交換します。

## 3) 車両送迎

### ア. 安全運転について

各事業所に安全運転管理者を設置します。安全運転業務管理をおこない、事故防止に努めます。事故訓練の継続と冬期走行の為の準備を計画的におこないます。

### イ. 車両管理と購入について

車両管理表を用いて日常的に点検を実施して長く安全に車両が維持できるよう努めていきます。引き続き、助成金やリースを活用しながら車両配備を検討していきます。

### ウ. 運転者講習について

以前までは、教習所で講習を受けたのち、各事業所で役職者の確認が取れた職員のみが送迎のために運転できていましたが、教習所が講習を開催できなくなったため、法人で基準を作成しています。車両送迎担当と安全運転管理者が中心となって、利用者にとって安心できる送迎環境を整えます。

## 4) 広報部会

### ア. ホームページ掲載について

広報委員が中心となり、事業所の情報や活動報告を個人情報に留意しながらホームページに掲載していきます。広報部会でも進捗状況の確認をおこないながら内容を充実させていきます。

### イ. 内容の充実と定期発行に向けて

アンケートを作成して実施していきます。内容や構成が停滞しないように常に変化と進化ができるよう部会でも議論を深めていきます。定期発行に向けて、編集・印刷・折り作業を各事業所で分担しながら進めていきます。

## 5) 虐待防止委員会

ア. 虐待防止マネージャーと連携しながら年間予定と議題を決定していきます。

年3回の委員会を開催していきます。各事業所の虐待防止マネジャーの役割と責任を明確にして、委員会での各事業所からの報告と会議内容の周知徹底を図ります。研修会の内容についても委員会で役割分担して企画と開催をしていきます。





## 第2 事業別計画

### 1. 日中支援部門

#### (1) 重点課題

- 1) 喫茶事業は利用者の働く時間を増やすとともに、のぞみの家のケーキの安定仕入れやなかまの家の陶芸品などを店に出せるように工夫します。また、地域の方々の憩いの場として新型コロナ感染防止に努めながら継続して開店できることを目指します。
- 2) 利用者の健康管理や身体機能保持のため看護師をはじめ OT や PT の安定した配置を目指します。
- 3) 各担当者会を軸に利用者の安全や安心を保障できる環境づくりを進めます。生活寮やこのみにも情報提供や安定して会議に参加できるように工夫します。
- 4) 職員は障害のある人の権利擁護をはじめ発達の課題や障害特性、加齢にとってもなう配慮について学ぶため、積極的に研修の参加や報告をおこないます。
- 5) 各事業所の施設長とサービス管理責任者は法人利用者の状況や活動内容の確認など常に事業所課題を共有し実践を高めていけるようにします。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) のぞみの家

###### ア. 重点課題

(ア) 職員の連携を深め、組織力を高めます。

会議を通して活発な意見交換をしながら、個の力と集団の力を高めます。担当だけでなく施設全体の業務に目を向け円滑な運営ができるよう職員の連携を強めます。

(イ) 利用者の健康維持のために専門職、他機関との連携を強めます。

日々の健康観察や記録、専門職との連携を基に、健康維持、身体機能の維持をします。加齢に伴う変化によりストレッチの必要性が高まっています。専門職の来所回数を増やすことを検討しながら対応します。また通院同行を積極的におこない利用者の健康状態の把握、情報共有に努めます。

(ウ) 利用者理解を深めます。

利用者一人ひとりの積み上げてきた歴史、障害特性、発達課題についての学びを深められるよう、研修参加や家族からの話を聞く場を設けます。その上で利用者支援、班活動がより利用者の要求に沿ったものとなるよう、活動やレクリエーションの充実に努めます。また権利擁護や虐待防止についての話し合いも継続しておこないます。

(エ) 仕事、活動を通して地域とつながります。

住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、パック回収や販売活動を通して地域とつながり、また利用者の姿や活動を知ってもらうための販売活動、作品の展示などをおこないます。新型コロナウイルスの影響で中止や規模縮小してい

た地域での活動を感染対策を行いながら徐々に再開していきます。

(オ) 環境整備をおこないます。

ヒヤリハット、事故報告から出た対応策を実行し、再発防止に努めます。利用者が安心、安全に活動できるよう危険予測をしながら環境整備をおこないます。また、市との話し合いの場を設け、安全管理の観点からのぞみの家駐車場についての課題を共有していきます。

イ. 各班の重点課題

(ア) チャレンジドリームズ班

ア) 仕事・活動を通して達成感、生きがいを感じます。

仕事の役割分担を個々がスケジュール表で確認し、各々が責任を持って取り組める仕事にしていきます。また、お互いの仕事や活動の進捗状況を把握し、お互いが補い助け合える環境を考えていきます。自治会などを定期的に開催し、お互いが自由に積極的に意見交換できるように環境を考えていきます。

イ) 仕事と身体のバランスを考えていきます。

仕事と休憩の時間のメリハリのある活動を考えていきます。歩いて銀行に行く、時には散歩をするなど、外に出て身体を動かす活動を積極的にしていきます。またストレッチなども積極的に取り入れていきます。

(イ) 元気なたんぽぽ班

ア) 個々の状態に合わせた健康づくりを一層充実させていきます。

歩行や体重など、年齢とともに健康上の課題が少しずつ浮かび上がっています。フットケアや便秘解消のためのケアを行います。積極的に歩行する機会も設けていきます。

イ) “わかりやすく”“明るい”見通しを持って主体的に活動します。

絵カードや活動の道具を使って“わかりやすい”活動を継続します。また、散歩に行く場所を増やして地域に自分の安心できる居場所をつくるなど、活動のなかに楽しみをつくり、“明るい”見通しを支援します。

(ウ) おひさま班

ア) 絵画を通じた表現活動を充実させます。

これまで、絵画を発表する事で様々な表情が見られてきました。

今後も、メンバーの気持ちを大切に、仕事としても幅を広げ、多くの方に触れてもらう機会をつくることで、絵画への意欲の維持を図ります。展示場所の新規開拓や、一般選考会にチャレンジ、製品制作制作制作します。

イ) 専門職と連携し健康管理を行います。

加齢や基礎疾患等を考慮し、専門家や家庭、寮と連携を取りながら正確な情報の共有、意見交換を行い、24時間を視野に入れた健康管理を行います。

ウ. 仕事

(ア) 自主製品 目標金額 150,000円

施設見学等で他作業の製品を見る機会を設けながら商品価値を高める努力を

します。新たな製品を開拓しながら地域での展示・販売先を増やします。

(イ) ケーキ・喫茶 目標金額 400,000円

カフェてんへの納品、イベント時の注文販売に加え、地域での販売活動を積極的におこないます。原材料費高騰に伴い価格の見直しをおこないます。

(ウ) お茶・ふきん 目標金額 150,000円

商品のよさを伝えながらお茶の販売に力を入れます。固定客が増えるようにていねいなやりとりをします。

(エ) おむつ 目標金額 1,000,000円

注文書を用意し、注文、発注、納品、支払いの流れを一つ一つ確認しながら、利用者中心に販売をおこないます。

(オ) 業務委託 目標金額 20,000円

定期的な仕事になるよう埼玉福祉会と連絡を取り、入力・見直し・納品がスムーズにいくような作業工程を考えます。

(カ) きょうされん物品販売 目標金額 1,960,000円

利用者の自治会で目標を立て計画的に取り組みます。人とかかわりの持てる仕事として、お客さんとのやりとりをていねいにおこないます。

(キ) 資源回収 目標金額 10,000円

近所の回収活動を継続していきます。身体を動かし、定期的に卸作業に行きます。

(ケ) リサイクル店 目標金額 10,000円

リサイクル品に限らず自主製品やケーキを対面で販売できるように、開催の内容を変えて実施を検討します。

## エ. その他の活動

(ア) 健康

個人に合わせた健康管理を促進していきます。

健康診断を受診できるように医療や家庭と連携します。定期受診の際は本人・職員が同席し情報把握に努めます。バイタル測定を習慣化し、日々の細かい変化に対応していきます。

(イ) 機能訓練

理学療法士作成のプログラムを基盤としたストレッチを行います。身体の変化や新たな課題に気づけるよう見直しや専門家との連携を行います。

(ウ) 給食

スチームコンベクションを活用し利用者の機能に応じた食形態、調理方法の工夫をおこないます。また食洗機を買い替え作業の効率化を図ります。

(エ) 旅行

感染状況を鑑みながら利用者が楽しめる旅行等の計画をおこなっていきます。

(オ) 作品展

開催場所や開催方法を検討し、利用者の姿や活動を多くの人に知ってもらうことを目的に開催します。

(カ) 地域行事

感染状況を見ながら特別支援学校の祭り参加を検討していきます。

(キ) 実習生

介護等体験・介護福祉士・社会福祉士の学生を受け入れます。実習ノートを確認しながら振り返りを丁寧におこなっていきます。

(ク) ボランティア

社協と連携し、ボランティアが安定して参加できる環境づくりをしていきます。積極的にボランティアとの関りを考えていきます。

(ケ) 研修

計画的に研修を行い、報告会も実施していきます。成果を現場に反映できるように考えていきます。

オ. 消防計画

消防署と連携しながら定期的な訓練を実施します。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	おひさま班・元気なたんぽぽ 班 チャレンジドリームズ班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始及び受入れ準備
9 : 0 0	受入れ	活動支援
10 : 0 0	各班で朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	
1 2 : 1 5	昼食・休憩	昼食支援
1 3 : 3 0	チャレンジドリームズ班 活動開始	活動支援
1 4 : 0 0	おひさま班・元気なたんぽぽ 班 活動開始 室内作業 外作業	
1 5 : 0 0	帰りの会	
1 6 : 0 0		送迎 掃除
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	自治会 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	散歩 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ配達	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ配達	売上計算 ストレッチ ケーキ作り ボールプー ル 散歩
午後	ストレッチ ケーキ作り 音楽活動 散歩	ストレッチ ケーキ作り ボーリング 散歩	ストレッチ ケーキ作り トランポリ ン 散歩	ストレッチ ケーキ作り ボールプー ル 散歩	各班でレク

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月		
5月		
6月		国際美術大賞展
7月	きょうされん夏季物品販売	特別支援学校夏祭り
8月	きょうされんデザインコンクール応募	東京都障害者美術展
9月	旅行	いのちかがやけ作品展
10月	旅行	地域センターまつり
11月	きょうされん冬季物品販売 利用者健康診断	特別支援学校文化祭 青少協まつり
12月	のぞみの家作品展 ぴゅああーと展作品応募	
1月		
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 きょうされん春季物品販売 がんばろう会 (のぞみ屋外で焼肉)	

※旅行の実施の有無と形態については検討。

## 2) 活動センターかなえ

### ア. 重点課題

(ア) 入所希望があった場合には、入所できるようスタッフの増員を目指します。

(イ) 喫茶で働くことができる利用者の増加に向けて、引き続き実習などの機会を設け、いろいろな利用者が関われるようにします。

### イ. 各班の重点課題

(ア) なのはなグループ

ア) 落ち着いて活動できる環境をつくります。

利用者一人ひとりにあった活動環境を整え、落ち着いて活動ができるように支援します。

イ) 創作活動を充実させていきます。

定期的に絵画活動に取り組んでいます。気持ちを表現できるように筆やブラシ、クレヨンや絵の具など使用する道具を工夫していきます。また毛糸を使った平編みでの作品作りにも取り組んでいます。完成した作品をコンクールや作品展に応募していきます。

ウ) 健康の維持・改善 身体機能の維持・改善を図ります。

定期的に体を動かす時間を取り、ウォーキングやストレッチを行います。また医療やリハビリなど専門家と連携し体調を把握した上で必要に応じて活動内容の見直しも検討していきます。

(イ) だるま班

ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させています。

利用者本人が希望した画材や色を使用できるように創作道具を充実させます。自己表現としての作品作りを行えるように肯定的な声掛けを行います。

イ) 『グッズデザインコンクール』『ぴゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。

ウ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。

牛乳パックちぎりから紙すきまでの工程を、班全体で取り組んでいます。各利用者が取り組んでいた内容にこだわらず、他の利用者が取り組んでいた工程への挑戦や、新たな作業を検討し、利用者が積極的に活動に取り組む事を目標とします。現在、はがきや付箋などに加工して販売しています。新製品についても検討していきます。

(ウ) ちゅーりっぷ班

ア) 利用者同士の関わりを大切にしながら、落ち着いて過ごせる環境をつくります。

利用者同士の交流を通して、和やかな雰囲気作りをします。

イ) 野菜作りに取り組みます。

育てた野菜は、Café てんでの販売や給食で使用します。料金箱を設置して販



売し、収入に繋げていきます。

ウ) 手芸・創作活動に取り組みます。

利用者の希望を聞きながら手芸や創作活動に取り組みます。発表する場として事業所の作品展や販売会、その他グッズデザインコンクール、ぴゅああーと展などに出品します。

エ) 身体機能の維持・改善を図ります。

専門家（医師・OT・看護師・栄養士など）と連携して利用者の健康維持に努めます。

（エ）スマイル班

ア) 仲間同士の関わりを大切にしながら、落ち着いて過ごせる環境をつくりま  
す。利用者同士の会話や、やり取りをスタッフが間に入りスムーズに行え  
るよう支援します。

イ) 自主製品を作製し、販売会を開催します。

利用者に何を作りたいか希望を聞きながら手芸・さき織り・布巾作りに取り  
組みます。販売会では、製品に加工し販売します。製品に加工するための材  
料を購入します。

ウ) 創作活動に取り組みます。

発表する場として事業所の作品展、その他グッズデザインコンクール、ぴゅ  
あアート展などに応募、出品します。スケジュールを作成し見通しが持てる  
ようにしていきます。

立体的な表現ができるよう紙粘土などの創作活動を検討していきます。

必要な材料、画材の購入をします。

エ) 外活動に参加します。

ウォーキングで身体を動かします。

オ) 身体機能の維持・改善を図ります。

専門家（医師・OT・看護師・栄養士など）と連携して利用者の健康維持に  
努めます。

カ) 有意義に昼休みを過ごします。

利用者同士の会話ややり取りを大切にします。また、安全に過ごすことがで  
きるよう見守り支援をおこないます。

ウ. 仕事

売り上げ目標金額と取り組み内容

（ア）資源回収・おろし 目標金額 200,000円

近隣の方の資源提供も安定してきています。徒歩での回収作業では安全に行  
なう事が出来るようにカートを購入します。引き続き新たな回収先を開拓し、  
回収量を増やしていきます。

（イ）市報配布 目標金額 300,000円

一軒一軒確実に配布できるように配布場所を確認し、新規や空き家などの情

報共有や地図に色を付けるなど、だれが見ても分かりやすいように工夫をします。

(ウ) 自主製品 目標金額 70,000円

利用者の日々行っている仕事が、収入につながるよう自主製品の品質を高めしていきます。また、年間を通して計画的に製品づくりができるよう取り組みます。

(エ) 空き地の整備 目標金額 144,000円

市より委託を受けて、かなえに隣接する空き地の整備をおこないます。

(オ) 物品販売 目標金額 900,000円

きょうされん物品販売のカタログを利用し年4回取り組んでいきます。毎回利用して頂けるお得意様が少しずつ増えてきているため、引き続き継続的に利用して頂けるよう取り組みます。また一般宅へのポスティングは各班で担当エリアを決めたり、自治会でのスケジュール確認など話し合いを行い、みんなで目的を共有し取り組んでいきます。

(カ) 喫茶

衛生面に細心の注意を払い、利用者のできる事を広げつつ清掃や接客などの仕事ができるよう支援します。喫茶で働いている利用者は接客に慣れることを目標に、他の利用者は活動の中でcaféてんの仕事に慣れる事を目標に取り組んでいきます。

エ. その他の活動

(ア) レク・調理

レク活動は月に1回行ない、調理活動は4ヶ月に1回のローテーションで班毎に取り組めます。自治会で話し合い利用者の意見を聞きながら内容を検討していきます。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら最終決定します。

(イ) 旅行

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ班ごとの旅行（日帰り旅行も含む）を企画します。利用者も旅行を楽しみにしています。利用者の健康と安全を最優先に考え、どのような対策を取る事で実施出来るのかを検討していきます。実施するにあたり自治会で利用者の意見を取り入れながら話し合って計画します。

(ウ) クラブ活動「フラワーセラピー」

自治会で確認しながら2ヶ月に1回フラワーセラピーを楽しみます。ボランティアの先生には新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらご指導いただきます。

(エ) 散歩・ウォーキング

散歩では外の空気を吸いのんびりと歩く事で気分転換につなげます。ウォーキングは一定のペースで歩く事で体を動かし体力維持につなげます。休憩時間

や活動の中で取り組んでいきます。

(オ) 昼食

利用者の健康を考え、ご家庭と相談し昼食弁当の配慮を行います。また利用者の要望で月に2回給食を作って提供します。カレーやシチューなど旬の野菜を入れ、季節が感じられる献立を考えます。

オ. 消防計画

避難訓練は、毎月一回行います。地震・火災訓練・消防署と連携しての総合訓練（通知訓練）など年間計画を立てて行います。

利用者スタッフの身の安全の確保や避難経路の確保などを中心におこないます。また、非常食を食べる訓練を年に数回実施します。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	なのはなグループ・だるま班 ちゅーりっぷ班・スマイル班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始
9 : 0 0		準備・会議等
9 : 3 0	受け入れ開始	受け入れ支援
1 0 : 3 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 2 : 0 0	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食支援 片付け・活動準備
1 4 : 0 0	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 5 : 0 0	室内作業 外作業	
1 5 : 0 0	帰りの会	
1 5 : 3 0	送迎準備	
1 5 : 4 5	送迎	送迎・片付け
1 6 : 0 0	帰宅	会議
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング ※調理	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング ※レク
午後	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング ストレッチ Cafe てん仕事	外作業 創作 ウォーキング ※自治会	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング Cafe てん仕事	外作業 室内作業 創作 ウォーキング ストレッチ	外作業 室内作業 創作 ウォーキング ※レク

- ・外作業…広報(チラシ)配布、空き地整備
  - ・室内作業…和紙製作、さきおり、手芸、広報(チラシ)折り
- ※自治会…週1回実施 ※調理…月1回実施 ※レク…班毎に月1回実施

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月	歓迎会	
5月		
6月	利用者健康診断 なのはなグループ日帰り行事※	
7月	だるま班日帰り行事※ きょうされん夏季物品販売	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	ちゅーりっぷ班日帰り行事※	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者・成人を祝う会(法人全体) 「わたしたちの作品展」開催※ スマイル班日帰り行事※	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季物品販売 手づくり品販売会開催※	
12月	ぴゅああーと展作品応募、クリスマス会、 冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売	
2月		ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売、ボーナス支給	

・毎月1回…各班レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日

※印…会場の都合により日程変更あり

### 3) なかまの家

#### ア. 重点課題

(ア) 感染状況により再開する活動など丁寧検討します。

感染対策から見合わせ中の活動など、再開に向けて丁寧に見直し目的や内容・方法など利用者の実態に合ったものにします。

(イ) 利用者の健康管理や身体機能の維持をします。

ご家庭や主治医などの医療機関と連携し健康を管理します。そのために、嘱託医・看護師・理学療法士・栄養士などの専門職とも連携し専門的な助言を支援に反映させます。

(ウ) 建物の修繕・改修個所を提案し必要があれば施設整備します。

市から貸与されている築24年の事業所の建物について、利用者・家族が安全・安心して通える事業所を実現できるように市に働きかけます。年度当初、担当課と老朽化の実態を確認し修繕や改修の提案をしていきます。必要があれば事業所で施設整備をしています。

(エ) 活動や支援の目的を共有していきます。

組織的に取り組めるよう会議で議論し決定したことを実施します。またその振り返りや提案などを担当者が中心に行い定着させていきます。

(オ) 職員の研修

職員の専門性を高めるために、また利用者の支援に反映されるよう、最新の情報を得るためにも年間計画をたて積極的に研修します。

#### イ. 活動の重点課題

(ア) 利用者が主体の体制づくりを行ないます。

個々のニーズが反映された体制になるよう、ガイドラインの見直しや活動会議での振り返りを定期的に行ないます。日々変化する利用者の状況に合わせ職員間で確認し進めていきます。

(イ) 身体機能の維持・向上を目指します。

一人ひとりの身体状況に合わせ、ウォーキングやマッサージ、足浴等を積極的に行なっていきます。又、嘱託医や看護師、作業療法士等、専門職と連携しより良い支援に繋げていきます。

(ウ) 生活しやすい環境作りを目指します。

感染症予防を意識しながら、活動しやすく、分かり易い空間作りを行ないます。パーテーションの活用や机の配置等柔軟に工夫し、快適に活動できる空間作りを行ないます。

#### ウ. 仕事

売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収 目標金額 200,000円

回収を通して地域とのつながりを大切にします。その中で回収先を増やす検討を行ない収入アップを目指します。

(イ) 缶つぶし 目標金額 卸し先が資源回収と同じため資源回収に含む。

週1回の作業から週に数回の作業に増やします。回収量が減っているため、大口の回収先の開拓をしていきます。電動缶つぶし機の修繕を行ないません。

(ウ) パック整理・卸し 目標金額 10,000円

大口回収先が無くなってしまったため、新規の回収先を増やします。

(エ) 市報配布 目標金額 300,000円

広報紙納品前に折込紙の有無の確認をします。配布前は配布物とエリアの確認、配布中は進捗状況の確認をし共有していきます。

(オ) チラシ配り 目標金額 10,000円

市内のチラシ配りの下請け配布をおこないます。スケジュールを作成し会議で期間、行程、進捗状況の確認などおこないます。また、配布物の保管場所、管理方法についても周知していきます。

(カ) 自主製品 目標金額 70,000円

販売会…自主製品を販売します。感染状況によりますが会場で販売を行ないません。作品展と合同での開催や、陶器市などの開催をします。そのために製品の在庫の整理をしていきます。また販売の値段をわかりやすくしていきます。

【手芸】刺しゅう製品を作成し販売します。必要に応じて材料などを購入します。また在庫のあるピンオープナーのチラシを配布し売上につなげます。

【陶芸】地域の方々に積極的に販売していきます。物品販売と一緒に自主製品としての販売や陶器市を開催します。販売時や搬入出を効率的に行えるよう個人作品と販売品の区別を明確にし管理・保管していきます。

(キ) ボーナスへの取り組み 目標金額 950,000円

カタログ配布を通して地域とのつながりを大切にします。そのために、配布エリアは利用者が歩いて配りに行ける場所に設定し取り組みます。その取り組みに付随して、お得意様が増えることにより売り上げアップに繋がっていきます。

(ク) 授産販売(お茶・ペーパー・布巾) 目標金額 130,000円

お茶の販売は仕入れ先が閉店するため新規の仕入れ先を検討します。利用者の安定した仕事と販売につなげるため仕入れ先は近いところで検討します。また、トイレットペーパーと布巾は、昨年課題だった値段の見直しをおこない販売の意義や目的についての再検討します。

## エ. その他の活動

調理活動とプール活動は、感染状況により再開する場合は、再度、活動の目的や方法など丁寧に検討します。

(ア) 自治活動

給料渡し以外に朝の会や帰りの会を利用して利用者全体に情報を発信する場としての自治会の開催を検討します。

(イ) 創作活動

作品展…昨年度に引き続き会場での開催を目指しますが、感染症の状況を見

ながら開催方法を検討します。昨年 の 作品展を踏まえて、計画的に取り組んでいきます。

【陶芸】電動ろくろに沢山触れながら、粘土の感触を楽しみます。粘土作りでは再生した粘土が固まらないように保管します。個人作品と販売用製品の区別が分かり易いように、年間計画や制作時の目的を職員間で共有します。収納ケースを購入し作品や製品を、管理・収納をしていきます。又、工房の先生と相談しながら必要な道具や粘土を購入していきます。

#### 【絵画】

年間計画を作成し、引き続き個人のキャンパス地での重ね塗りの取り組みや全体作品を作成します。また、晒に布用絵の具で色をいれるなど新しい取り組みを行ない、利用者の表現を拡げていきます。

環境面では、道具を分かり易く配置し、利用者が自ら選び易いように整理するため、必要な画材や収納品等購入します。

#### 【手芸】

利用者が挑戦しやすいようそれぞれの利用者にあった織り機の作成や支援方法を工夫していきます。そのために必要な材料の購入をし、支援方法の検討や共有をしていきます。

##### (ウ) ウォーキング

ウォーキングについては引き続き密を避け感染予防対策を十分におこなっていきます。

##### (エ) 体操・足浴

体操は楽しく身体を動かすことを目的に、前半は身体を伸ばす事を意識したストレッチ、後半は音楽のリズムに合わせて自由に身体を動かします。足浴はリラクゼーションと血行促進を目的に、車椅子の利用者や末端が冷える利用者等を中心に行ないます。理学療法士や医療と連携し、利用者 に 合った動画作成や足浴時のマッサージも行います。

##### (オ) 健康診断

健康診断を受診できるよう医療やご家庭と連携し、受診結果を健康管理に活かします。

##### (カ) 機能訓練

理学療法士が考案したストレッチを体操の活動で取り組みます。身体機能維持のためにマッサージ手順書の作成を理学療法士に依頼します。ま嘱託医や主治医など医療と連携し身体機能の相談や助言を支援に活用します。

##### (キ) 給食

昨年度より開始した委託事業所に引き続き受注していきます。美味しく食べ易い給食が提供出来るよう、定期的に打合せを行ないます。利用者の障害の特性や好み等丁寧に伝えます。行事食やスイーツ等食事のバリエーションが広がるよう積極的に提案していきます。



(ク) レクリエーション

年間計画を作成し、計画に沿ったレクリエーションを行います。内容にあったグループ分けにして、それぞれのペースに合わせて内容を検討します。感染症拡大予防のため、状況を見ながら内容を検討し、利用者と確認しながら企画しおこないます。

(ケ) 旅行

感染症の状況をみながら対策を行ない、利用者が普段できない経験や楽しい時間を作ります。早めに計画をしていきます。

(コ) 実習生

福祉の担い手としての実習生の受け入れを行なっています。なかまの家での経験を今後、法人や福祉に携わる際の一助となれるよう取り組んでいきます。

オ. 消防計画

避難訓練、通報訓練をパートスタッフも一緒に実施します。自家発電機の購入や、古くなってきた防災頭巾の購入を検討します。備蓄品の購入も進めています。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	利用者	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始
9 : 3 0	受け入れ開始	準備・会議等
10 : 0 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
	室内作業 外作業	昼食準備
1 2 : 0 0	昼食・休憩	昼食・昼食支援・歯磨き支援 片付け・休憩
1 3 : 3 0	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 5 : 0 0	室内作業 外作業	
	帰りの会	送迎
1 6 : 0 0	送迎	片付け・清掃・会議
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外活動 ・体操・足浴 ・マッサージ	・外作業 ・体操・足浴 ・マッサージ	・外作業 ・体操・足浴 ・マッサージ	・外作業 ・体操・足浴 ・マッサージ	・外作業 ・体操・足浴 ・マッサージ

- ・外作業…資源回収等、広報配布、ウオーキング、缶つぶし、パック整理・卸し
  - ・室内作業…広報折り、創作活動（手芸・陶芸・絵画）マッサージ、体操、足浴
- ※プール、調理活動は新型コロナ感染症の感染状況による。

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月		
5月		
6月		
7月	きょうされん夏季販売（利用者ボーナス取組み） 日本財団 公募展応募	
8月		
9月	※日帰り旅行	いのちかがやけ作品展
10月	※日帰り旅行	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季販売（利用者ボーナス取組み） ※みんなの作品展 インフルエンザ予防接種 ※利用者健康診断	
12月	クリスマス会	
1月	きょうされんバレンタイン販売（利用者ボーナス取組み）	
2月		ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売 ボーナス支給	

- ・毎月1回…レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日
  - ・日帰り旅行：日程・内容は未定
- ※印：日程・内容の変更あり



## 2. 生活部門

### (1) 重点課題

#### 1) 「一人ひとりの暮らしを尊重」

生活寮は集団生活ではなく一人ひとりの暮らしが尊重される共同生活の場であることを忘れずに支援をおこなっていきます。利用者が「何をしたいのか？何を考えているのか？」一人ひとりの想いを最大限に汲み取りながら、その想いを尊重できる声掛けや行動の先を見守る支援を考えていきます。

#### 2) 「つながる・つなげる支援」

交代勤務の為、職員同士でも顔を合わせる機会が少ないです。課題を一人で解決しようとするのではなく、共有と伝達を日常におこないつつながら組織全体で解決に向けて取り組んでいきます。その為にも職員・パートスタッフ隔たり無く、利用者の生活を支えていく大切な一人として役割と責任を果たしていきます。

共有と伝達方法として、引継ぎ簿の継続と共に勤務前のミーティングで利用者の体調確認などをおこなっていきます。パートスタッフ参加のケース会議を開催していきます。

#### 3) 「家庭との連携」

生活寮で暮らしていく上では、ご家庭との連携と協力が欠かせません。日頃からコミュニケーションをとっていきながら、寮の取り組みも積極的に発信していきます。家族会では、テーマなどを設けて、それに沿っての意見交換ができるように工夫していきます。

#### 4) 「日頃の整理整頓と施設内外の美化」

利用者の私物を大切にしたり、共用備品を大切に扱ったりすることは、その利用者自身や利用者の生活の場を大切にすることと同じです。日頃から物を大切に扱い、整理整頓に努めていきます。同じく施設周辺環境美化に努めることも地域で暮らしていく上では重要なことなので、そのような意識も高く持って実践していきます。

#### 5) 「職員採用と定着」

就業前の段階で生活寮の意義や業務内容を丁寧に伝えていきながら、定着に向けた取り組みをおこなっていきます。教育担当の職員を配置して、新人職員が孤立しないように気軽に相談ができるような体制を整えていきます。

#### 6) 「相談支援事業所と連携」

地域での暮らしを守り、充実していくために相談支援事業所と連携をとっていきます。利用者の医療面や将来の課題などを生活寮だけで取り組むのではなく、相談支援事業所を窓口として家庭や通所事業所とも役割を分担していけるよう仕組みを作っていきます。

#### 7) 第三者評価を受審します。

サービス提供の質の向上のために第三者評価を受審します。評価結果を基に運営、支援の向上に役立てていきます。

## (2) 各事業所の計画

### 1) 生活寮そら

#### ア. 重点課題

##### (ア) 支援の振り返りについて

利用者のプライベートな空間が多い生活の場の支援では、利用者と職員が心身ともに距離が近くなりがちです。それによる支援や関係性の“慣れ”や“緩み”が生じないように職員は常に自身の役割と立場を再認識しながら利用者との距離感や声掛けに注意していきます。定期的に自身の支援の振り返りをおこなっていきます。

##### (イ) 障害特性の理解について

利用者理解の一つとして、障害特性や心身機能の状態の理解が必要です。声掛けに配慮が必要な方や意思の表現方法も個々によって違うことを理解していきます。その理解の上で、一人ひとりに合った具体的な支援方法を考えていきます。

##### (ウ) 健康維持について

通院や日頃のケアや観察の比重が多くなってきています。家庭とも連絡を取り合いながら早めの対応をおこなっていきます。訪問看護の導入についても積極的に家庭へ提案していきながら、医療面でのサポート体制を充実させていきます。職員は共同生活援助の専門職という視点で医療の専門職との情報交換ができるよう自身の知識の幅を広げていきます。

### 2) 生活寮にじ・かぜ短期入所

#### ア. 重点課題

##### (ア) 安心して過ごせる空間を作っていきます。

「寝るだけ」の部屋にするのではなく、短期間の利用でも安心して落ち着いて過ごせる空間となるよう工夫していきます。くつろげるクッション椅子の用意や趣味嗜好の私物を持ってきたりするなど、本人が安心して過ごせるよう工夫していきます。

##### (イ) 新規利用者の受け入れをおこなっていきます。

利用見学や利用希望が複数あります。現場の体制を整えていきながら新規利用者を受け入れていきます。受け入れる際には、新規利用者のアセスメントを充分におこないながら準備を進めていきます。

(3) スケジュール

1) 1日の流れ

時間	利用者	スタッフ
15:30		受け入れ準備
16:00	各作業所より帰寮・入浴	受け入れ・トイレ・入浴支援
18:00	夕食・余暇	夕食準備 夕食・歯磨き 余暇支援
21:00	リビング消灯・就床	就床支援
23:00		巡回
2:00		巡回
5:00		巡回
6:00	起床	起床支援・朝食準備
7:00	朝食	
9:00	各作業所へ	食事支援 洗面・送迎準備
10:00		送り出し・退勤

2) 年間行事

月	利用者	スタッフ
4月		
5月	長期休暇中、日中の楽しみ	健康診断
6月		
7月		
8月	お盆中、日中の楽しみ	
9月		モニタリング
10月		
11月		スタッフ面接実施
12月	クリスマス会	
1月		
2月		個別支援計画更新、健康診断
3月		

※誕生日献立は、寮にいる方みんなでお祝いします。

※責任者会議を週1度、ユニット会議と全体会議を定期的に月1度おこないます。

※消防訓練を各ユニットでおこなっています。



### 3. 余暇・居宅・相談部門

児童から成人期までを対象としている部門として、それぞれの事業の具体的な方針を整理することで、事業所間の連携がよりスムーズにできるよう取り組んでいきます。

#### (1) 重点課題

余暇事業として「放課後等デイサービス」と「日中一時支援事業」を位置付けています。そして、居宅事業として移動支援を行っており、主に日中一時支援を利用する子どもの送迎を行っています。余暇と居宅により子どもの受け皿としてこのみの拠点を活用し、子どもたちに「遊び」を提供しています。

そうした子どもたちを受け止めていく窓口として児童を対象とした相談支援を位置付けています。昨年度、学齢期の相談支援については一年かけて他の機関に委ねていく計画でした。市内の受け皿が少ないため引き続き働きかけを行っています。

成人期の相談支援については、専任の配置ができたことで利用者・家族との面談を行い計画に反映することができました。その中で、家族の高齢化への不安を訴える声が多く、その不安を解消するために生活寮の実践に学びながら生活支援まで視野に入れた取り組みを考えていきます。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) 放課後等デイサービス

###### ア. 重点課題

(ア) 個々の遊びを大切にしながら、学べる環境づくりをします。

個々の遊びたい気持ちを大切にしながら、遊びを通して友達を意識することができるよう環境づくりをします。

集団の中で約束やルールなどの社会性を学んだり、手を使って遊ぶことで操作性を身に着けたり、遊びを通して楽しく学ぶことができるようにします。

(イ) 関係機関との連携をします。

わかくさ発達相談室、教育相談室、児童相談所、こども家庭支援センター、医療機関、各学校、他事業所と子どもたちの活動や様子について情報を共有します。必要であればケース会議などに参加します。

放課後連に参加し、最新の情勢の把握や情報交換など放デイを取り巻く環境を知り、安定した運営ができるように努めます。

(ウ) 昼食作りを行います。

長期休暇など、昼食をはさむ活動の時には、昼食作りを行います。新型コロナウイルス感染症が流行以降は予防のために行うことができていません。新型コロナウイルス感染症の予防に配慮しつつ、マスク・手袋の着用など一定のルールを設けて安全に取り組めるようにします。



(エ) 防災の意識を高めます。

地震、火災の避難訓練を実施します。事業継続計画（BCP）を基に、緊急時に計画を実行できるよう職員間で確認します。また、保護者にも周知できるようにします。緊急時に利用している子どもたちをスムーズに保護者へ引き渡すことができるように、日頃から家庭の状況を把握し、緊急連絡先の整理を行います。

(オ) 虐待防止に向けて取り組みます。

虐待防止マネージャーを中心に、個々のケースの話し合いを行うなど、虐待防止に向けて取り組みます。法人内の虐待防止委員会の内容を、パートスタッフも含め周知します。

## 2) 移動支援事業

### ア. 重点課題

(ア) 利用者の学校からの送迎を中心に行います。

日中一時支援を利用する子どもの、学校からの通所や自宅への帰宅を支援します。一人一人の特性を理解して、安全面に配慮して送迎を行います。

(イ) 利用者のニーズを把握して支援します。

利用者のニーズを把握し、それぞれに合った支援を行います。必要であれば、個別のケースにも対応し支援します。

## 3) 日中一時支援事業

### ア. 重点課題

(ア) 受けた依頼に対して柔軟に対応します。

不登校の子どもなど、様々な事情のケースにも柔軟に対応し、受け入れられるように体制づくりをします。保護者と学校、その他関係機関と連携を取り、個々に合った支援を行います。

(イ) 安心して利用できる場所になるよう環境づくりをします。

いつ来ても安心して過ごせる場所であるように環境づくりを行います。職員間でその子を取り巻く状況も共有し、丁寧な支援ができるようにします。

(ウ) 各関係機関との連携を密にします。

学校や子ども家庭支援センター、児童相談所など、必要であれば連携し、子どもの情報の共有を図ります。

## 4) 相談支援事業

### ア. 重点課題

これまで、法人の相談部門は学齢期と成人期の柱を立てて実施してきました。学齢期については他の機関に委ねていくこととしましたが、市内に受け皿が少なく移行するまでにはなっていないようです。引き続き取り組んでいきます。

成人期については、「利用者の立場に立った支援をめざして」とあるように、以下の取組みをおこなっていきます。

(ア) 各事業所の利用者支援会議等に参加することで常に利用者の把握をし、

事業所が行う個別支援計画とサービス等利用計画を連動させていく。

(イ) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきます。

相談部門主催の担当者会議・支援会議等を開催し本人の思いや希望を確認しあいながら、その人らしい暮らしに向けて、役割分担等をしていきます。

(ウ) 相談だけでなく、生活支援も視野に入れた支援の在り方など今後の進め方について考えていきます。

他相談支援事業所と情報交換をおこなう等連携し、外部研修にも積極的に参加していきます。

### (3) 消防計画

事前に計画を担当者が立て、職員みんなで話し合いながら定期的に避難訓練を進めていきます。そのため、訓練の内容・実施方法は、パート職員を含めて多くの人に伝える事で、このみ全体の防災意識向上につなげられるようにしていきます。また、避難訓練を実施した際にはレトルト食品をこどもたち自身で温めて食べるなど実践的な計画をおこない実施します。

また、東久留米市内の子ども達の利用が中心なので保護者が迎えに来るまでの水分やレトルト食品などの非常食も備蓄しておきます。また、備蓄品の管理も担当者だけではなく集団で確認をおこなっていきます。

### (4) スケジュール

#### 1) 1日

授業日		利用者	スタッフ
	10:00	学校、授業	職員出勤・朝礼
	～		事務・活動前準備等
	13:30	送迎、おやつ	パートスタッフ出勤
	～	活動(庭遊び、室内遊び、公園等)	送迎・活動
	17:30		
17:30～18:45	送迎・家族迎え	送迎・迎え対応、掃除	
休業日		利用者	スタッフ
	10:00		職員出勤・朝礼
	10:00	送迎・家族送り 活動(庭遊び、室内遊び、公園、昼食づくり等)	パートスタッフ出勤 送迎、送り対応 活動
	12:00	昼食	昼食
	13:30	午後活動(庭遊び、室内遊び公園等) おやつ	活動
	16:00～18:45	送迎・家族迎え	送迎・迎え対応、掃除

【主な活動内容】 昼食作り (長期休暇中)・おやつ作り・ゲーム・創作・外遊び・買い物

2) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り
午後	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)

3) 1年間

5月	こどもまつり
7月	清瀬特支夏祭り
8月	夕涼み会 おひさまサンサンフェスティバル
10月	ハロウィンパレード
12月	にぎやかカーニバル
3月	ぽかぽか春の集い

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては行事が中止になることがあります。

## 4. 事務部門

### (1) 重点課題

#### 1) 環境の整備を進めます

勤怠ソフト・給与ソフト・会計ソフトが揃いました。事務員はもちろん、管理者もソフトを使えるようにし、管理業務を強化できるようにしていきます。

#### 2) 事務員の能力向上を進めていきます。

ソフトの導入が終わり、活用していけるように事務員の技能の向上を目指していきます。特に勤怠ソフトについては事務員だけで管理できないため、管理者・シフト担当職員と一緒に向上を目指していきます。

また、事務員は事務をするだけでなく、現場との連携も当法人にとって重要なスキルの一つと考えています。日々の作業にとらわれることなく、利用者を中心にした組織を支えていく職員となることを目標にしていきます。

